

バスケットゴール役立てて

岐阜信金100周年 美濃加茂市に贈る

岐阜信用金庫は、創立100周年記念事業の一環で、美濃加茂市御門町のリバーポートパーク美濃加茂にバスケットボールのゴール1基(30万円相当)を寄贈し、7日に贈呈式があった。同金庫は店舗のある岐阜、愛知両県の計27市町に順次、物品を寄贈している。美濃加茂支店を構える同市

には市と相談の上、バスケットゴールを贈ることを決めた。寄贈を受け、市はゴール下の約200平方メートルを約100万円をかけてハーフトートを整備した。使用

は無料。30分制で運用し、受付が必要。

式典には牧田秀憲県議ら10人ほどが出席。同金庫の石神靖也常務理事は「末永くお使いいただければ幸い」とあいさつ。藤井浩人市長は「美濃加茂市もことは70周年の記念すべき年。美濃加茂高校男子バス

ケットボール部の活躍で、近年はバスケのまちとしても認識されるようになってきた。若い世代からニーズもあったので、ご支援を地域活性化につなげたい」と感謝を伝えた。(沢野都)



寄贈されたバスケットゴールを見上げる石神靖也常務理事(左)と藤井浩人市長＝美濃加茂市御門町、リバーポートパーク美濃加茂